



第4回学校運営協議会



「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」

令和8年2月12日(木) 13:30～15:30

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回の会議録確認（CSディレクター）
- 5 熟議
 - (1) 学校関係者評価について（教頭）
 - (2) 次年度の学校運営の基本方針について（校長）
 - (3) 学校運営協議会委員の自己評価について（会長）
 - (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）
- 6 連絡
 - 【次年度開催予定】
 - ① 4月17日(金) 13:30～15:30
 - ② 7月 8日(水) 13:30～15:30
(特5日課 教職員と意見交換予定)
 - ③ 11月13日(金) 13:30～15:30
(高学年の児童との意見交換予定)
 - ④ 2月12日(金) 13:30～15:30

令和7年度 第3回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月18日（火） 13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 1階会議室
- 3 出席委員 出野 光雄、大栗 智恵、内山 達也、武田 あゆみ、大石 見無雄、
高林 政三、佐藤 聖徳
- 4 欠席委員 新井 恵美子、梅林 正行
- 5 オブザーバー 野沢 和好（下阿多古ふれあいセンター）、
坂本 浩子（下阿多古幼稚園長）
- 6 学 校 木下 栄二（校長）、藤岡 政哉（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

10 議長の選出

内山会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

・地域とともにある学校づくりについて

- ① 学校支援の確認
- ② 紹介カードについて

12 会議記録

司会の藤岡教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長の指示により、地域とともにある学校づくりについて、SWOT分析法によるグループ協議を行った。

【Aグループ：出野委員、大栗委員、高林委員、佐藤委員、校長】

- ・放課後子ども教室の時間を利用し、中学生や地域の方との交流を深められないだろうか。
- ・ふれあいセンターに、地域で活動する団体のまとめ役をお願いできないだろうか。
- ふれあいセンターではなく、自治会等が中心となり指揮を執ってくだされば、協力は惜しまない。

【Bグループ：内山会長、武田委員、大石委員、教頭】

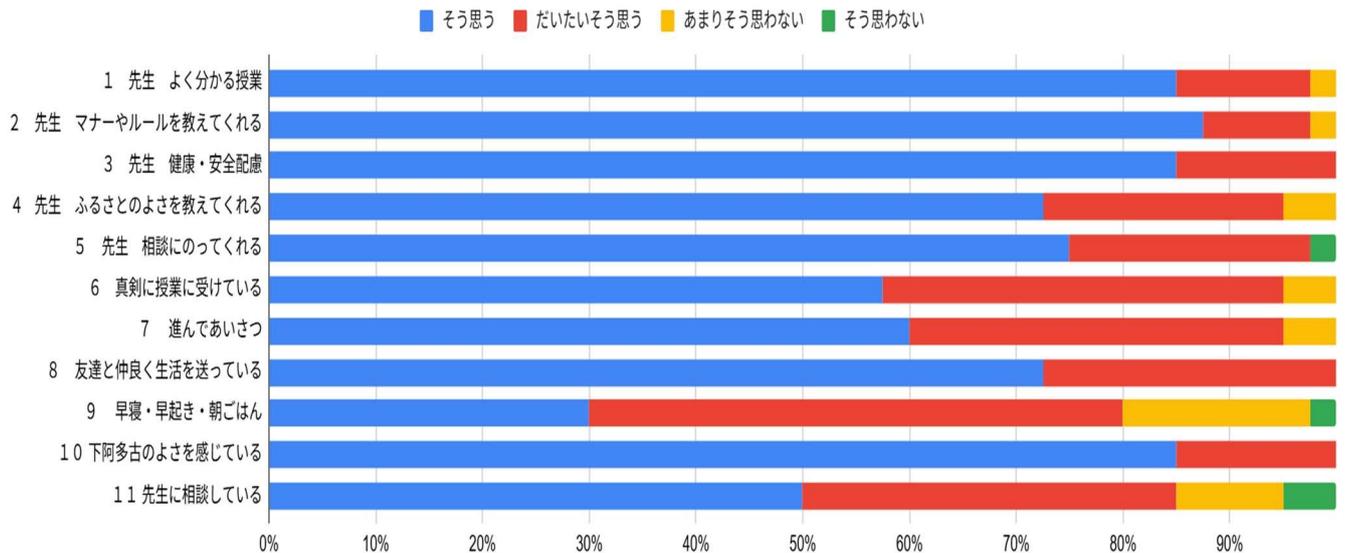
- ・子供たちの四小連合授業だけでなく、PTAの四小連合の活動の場があれば、保護者間の交流も深まり、不安等の解消につながると思う。
- ・くまの出没に関する見守りについて、地域の方にご協力をお願いしてはどうかと思う。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和8年2月12日（木）13時30分から1階会議室で開催する旨の報告があった。

< R7年度 児童・保護者アンケート集計 >

全校児童 学校評価集計



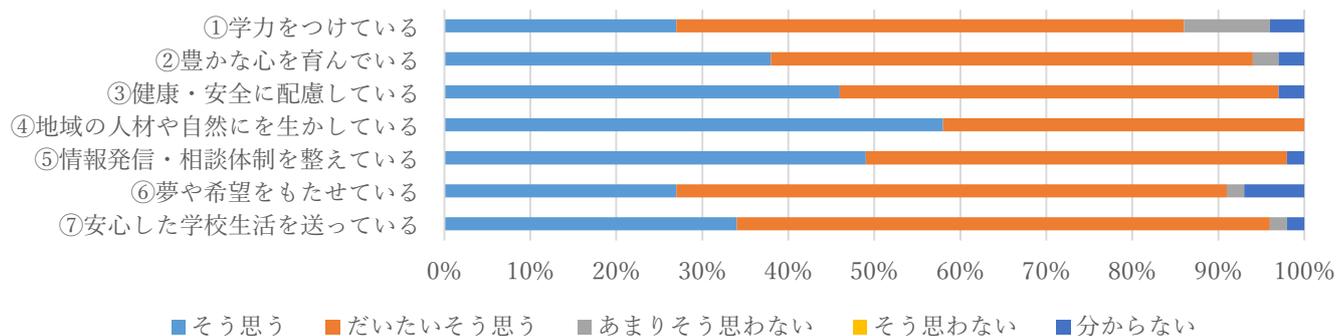
全ての項目において、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が概ね80%を超えています。①から⑤の項目から、子供たちと職員との関係が良好であることが結果から推測されます。小規模校という特性から、学年の枠を超えて、全職員で一人一人の児童を見守っていく学校風土を大切にしながら、今後も日々指導に努めていきます。

⑧⑩の項目については、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が100%という割合になっています。⑧の項目については、小規模校という特性から、子供たち同士のつながりは強いものになっています。運動会や米作りなどの学校行事においては、高学年を中心として、みんなで盛り上げていこうという雰囲気が、本校の伝統として築き上げられています。また、休み時間には、異学年同士で遊ぶ姿も多く見られます。職員も子供たちと積極的に関わったり、定期的に行う生活アンケートを友好的に活用したりしながら、今後も人間関係作りを大切にしていきます。

④の項目について、本校では、自然に恵まれた環境のもと、学区探検や水生生物の観察、鮎の放流、米作りなど一年を通して様々な教育活動が展開されています。その中で、四季を感じたり、下阿多古の歴史を学んだりすることができ、改めて自分たちが住んでいる地域の良さを感じられたと考えます。次年度以降も地域の方々との連携を大切にしていきながら、子供たちにとってさらに自慢できる学校作りを目指していきます。

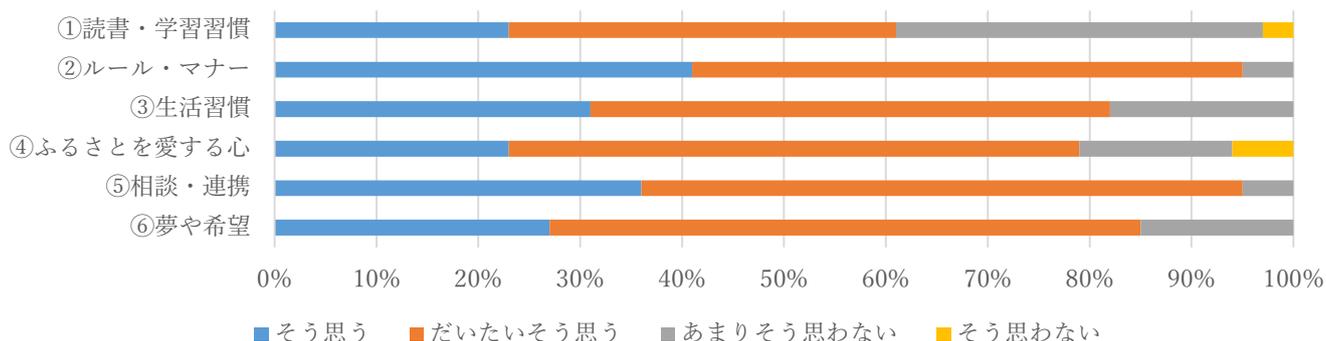
⑨⑪の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合は、約80%となっています。⑨の項目については、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合が、昨年度に引き続き、一番高いものとなっています。学校として毎月位置付けている「健康安全の日」において、自分事として生活習慣を見直すことができるような手立てを講じていきたいと考えます。家庭の協力も得ながら、正しい生活習慣を送ることで、心にも余裕が生まれ、楽しく学校に通うことができたり、前向きに学習に取り組んだりすることのできる姿を目指していきます。⑪の項目については、⑤の項目と関連付けると「先生に相談すれば話は聞いてくれるけど、自分から相談するのは勇気がいるし、恥ずかしい。」といった心境が結び付いていると考えられます。日頃からの子供たちとの人間関係作りを大切にしていきながら、気軽に相談できる風土作りに努めていきます。また、子供たちのわずかな変化にも気付き、一人一人に応じた手立てを講じていくことができるような、生徒指導体制作りを大切にしていきます。

保護者（学校での働きかけ）



全ての項目で、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が85%以上となっています。その中で、④の項目については、昨年度に引き続き100%という割合となっており、地域の方々に支えられながら、充実した教育活動を進めることができたかと捉えます。また、③⑦の項目についても高い割合となっており、本校が目指す「児童・保護者・教職員が安心できる風土づくり」の実現に向けて、家庭・地域と連携を図りながら取り組むことができた結果と考えます。一方、①の項目について、「あまりそう思わない」と回答した割合が10%となっており、昨年度と比較して8%増加しています。小規模校の良さを生かしながら、児童一人一人に寄り添った授業作りに努め、確かな学びを身に付けていくように全職員で取り組んでいきます。

保護者（家庭での働きかけ）



②⑤の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が90%以上となっています。引き続き、家庭と連携を図りながら、信頼される学校作りを目指していきます。一方、②⑤の項目も含め、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が、昨年度と比較して全体的に低くなっています。特に①の項目について、約40%が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しています。家庭での読書を含めた学習習慣の大切さを、改めて家庭に示していく必要があると考えます。

来年度に向けて

- 地域の人材や環境を十分活用し、実感の伴う学びを展開していきながら、子供たちに「ふるさとを愛する心」を育てていくことができるように努めていきます。
- 確かな学力を身に付けていくことができるように、教員自身も主体的に研修に取り組む姿勢を大切にし、日々の授業実践に生かしていきます。
- 懇談会や各種便りを通して、読書や家庭学習の習慣化や早寝・早起き・朝ごはんの効果や栄養バランスの大切さを低学年の段階から啓発し、家庭と連携しながら「知・徳・体」のバランスが取れた教育活動に取り組んでいきます。

令和8年度 下阿多古小学校グランドデザイン

- ◆国の教育振興基本計画コンセプト
 - ・持続可能な社会の担い手の育成
 - ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上
- ◆浜松市教育総合計画『描く夢や未来の実現』
 - ・自分らしさを大切にすることも
 - ・他者と協働し、主体的に行動できることも
 - ・自己調整しながら、粘り強く取り組むことも
- ◆清竜中学校区
 - 自分の良さに気付き、他者との関わりを大切にし、夢に向かって努力する子

- ◆校区の実態
 - 阿多古川と稲田を中心とした豊かな自然
 - 協力的で温かな保護者、地域
- ◆児童の実態
 - 明るく素直で何事にも真面目に取り組む。
 - 学年関係なく接することができる。
 - ▲自分で判断し、主体的に行動することに課題。
 - ▲交流の範囲が狭く、新しいことを創造したり、挑戦したりすることに課題。

校訓 「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標 ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子

将来設計・選択の力
(今と未来のわたし)

他者に働き掛ける力・
コミュニケーション力
(大切な仲間)

計画・立案
・実行・評価の力
(計画と実行)

- ＜知：確かな学力＞
- 主体的に学習できるための授業研究と個に寄り添った支援
自己調整学習 情報活用能力の育成
 - 考えや思いを伝え合い、学びを深めることができる交流の在り方の研究
ICT機器活用 三小合同授業
 - 複式授業の学習スタイルをモデルとした学び方の確立と学習リーダーの育成

- ＜徳：豊かな心＞
- 主体的に活動するための機会や場の設定
「ひと」「もの」「こと」への感謝 時・人・場に応じた言動 「聴く⇔伝える」場の重視
 - 多様性にふれ、他者を尊重し、自分の視野や考え方を広げる場の設定(多様性と包摂性)
気持ちのよい挨拶とありがとう 異学年交流 連合教育 三小合同授業
相手の気持ちに立った伝え方 情報モラル 折り合いをつける力
 - 自分自身を見つめ直し、なりたい自分を思い描く場の設定
「振り返り」の場の工夫 キャリアパスポートの効果的な活用

- ＜体：健やかな心身＞
- 自分自身に応じた挑戦の場と自力解決の場の設定、及び個に寄り添った支援
「分かった」「できた」の承認 「分からない」と言える「やってみよう」と思える集団づくり
 - 体力や技能の向上に向け、目標をもって運動に取り組むことができる場の工夫
 - 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会の設定

ふるさと下阿多古を愛する心



地域の人材や環境を活用した教育活動の推進による実感のある学びの設定
地域の「ひと」「もの」「こと」への感謝と、これからどう生かすか考える場の設定



- 安定した学校経営の基盤
- ◆ 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり(温かい関わり、いじめを生まない・見逃さない)
 - ◆ 保護者や地域から信頼される学校の推進(学校HP・ブログ、各種たより、教育相談体制)
 - ◆ 家庭との連携による学習・生活習慣の確立(家庭学習、教育相談、保健だより等)
 - ◆ 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の構築(安全点検、防犯・防災、いじめ防止)
 - ◆ 教職員の資質向上と心身の健康増進の両立(主体的な研修、「やりがい」がもてる働き方改革)

～心理的安全性のある関係性 学校、家庭、地域それぞれのウェルビーイングの実現～

国の動向

1 教育振興基本計画（第4期4年目）

（1）社会の現状と変化

- ・ 将来の予測が困難なVUCAの時代
※VUCA…Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)
- ・ 少子化、人口減少、高齢化
- ・ 地球規模課題
- ・ 低い労働生産性、学ばない社会人
- ・ 国や社会に対する意識の低下

（2）コンセプト(ベースとなる概念)

持続可能な社会の担い手の育成

- ・ 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展していく人材を育てる。
- ・ 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差したウェルビーイングの向上

- ・ 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上
- ・ 幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む

（3）基本的な方針

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共存社会の実現に向けた教育の推進
- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④ 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

（4）教育政策の目標

- ① 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成
- ② 豊かな心の育成
- ③ 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成
- ④ グローバル社会における人材育成
- ⑤ イノベーション(革新)を担う人材育成
- ⑥ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成
- ⑦ 多様なニーズへの対応と社会的包摂
- ⑧ 生涯学び、活躍できる環境整備
- ⑨ 学校・家庭・地域の連携・協働による地域の教育力の向上

- ⑩ 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
- ⑪ 教育DXの推進・デジタル人材の育成
- ⑫ 指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化
- ⑬ 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保
- ⑭ NPO・企業・地域団体と等との連携・協働
- ⑮ 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保
- ⑯ 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ

2 次期学習指導要領に向けた動き【教育課程企画特別部会 論点整理（R7.9.25）より】

（1）次期学習指導要領に向けた「三つの方向性」

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実装（Excellence）
現行の資質・能力の育成を一層深化させ、生きて働く「確かな知識」の習得を目指す。
- ②多様性の包摂（Equity）
不登校や特異な才能のある子など、多様な背景を持つ子供一人一人の個性を伸ばす仕組みを整える。
- ③実現可能性の確保（Feasibility）
教師の過度な負担を軽減し、子供と教師の双方に「余白」を創出することで、教育の質を向上させる。

（2）「分かりやすく、使いやすい」学習指導要領への刷新

- 教師が日々の授業づくりに活用しやすいよう、インターフェイスを刷新する。
- ・構造化・表形式化：個別の知識がどのように「中核的な概念」に結びつくかという「タテ」の関係と、知識と活用力の「ヨコ」の関係を可視化する。
 - ・デジタル化：指導案の作成支援やデジタル教科書との連携が可能な「デジタル学習指導要領」の実現を目指す。

（3）学びの質の向上と新領域の創設

- ・情報活用能力の抜本的向上
小学校での「情報の領域（仮称）」の付加や、中学校での「情報・技術科（仮称）」の創設を検討。
- ・「学びに向かう力、人間性等」の再整理
「初発の好奇心」「自己調整」「他者との協働」「人間性」の4要素で構造化し、子供が自律的に人生を舵取りする力を育む。
- ・「見方・考え方」の焦点化
これまでの抽象的な表現を整理し、その教科を学ぶ「本質的な意義」をより明確に示す。

（4）柔軟な教育課程の仕組み（多様性の包摂）

- ・「調整授業時数制度」の創設
学校が裁量を持って教育課程を編成できる「裁量的な時間」を設け、学校ごとの特色ある学びや子供に応じた支援を可能にする。

浜松市の動向

○ 第4次浜松市教育総合計画（2年目）

（1）基本理念

「描く夢や未来の実現」

子供や子供の成長を支える全ての人それぞれの「夢や希望」を描き、その実現に向けて自ら行動していくことでそれぞれのウェルビーイングを向上させていく

（2）コンセプト

- 主体性 … 物事を自分事として捉え、自ら解決すべき課題を見つけて粘り強く取り組む
- 多様性・包摂性… 一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重し合う
- 信頼・協働 … 様々な人や組織とより良い関係性を構築し、多様な人々と協働しながら社会変化を乗り越えていく

（3）目指すこどもの姿

- 自分らしさを大切にすること
- 他者と協働し、主体的に行動できること
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むこと

（4）目指す教職員の姿

- こどもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

（5）基本方針（Ⅰ～Ⅲ）と政策（①～⑤）

Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり

- ① 未来の創り手に求められる力の育成
 - ・ 確かな学力 ・ 豊かな心 ・ 健やかな心身 ・ グローカル人材
 - ・ 情報活用能力 ・ 持続可能な社会、地域の形成に参画する態度
 - ・ 育ちや学びをつなぐ教育の推進
- ② 多様なニーズに応じた学びや支援の充実
 - ・ 多様なニーズに対応したこども、保護者支援
 - ・ 特別な支援を必要とする子供の学びや支援
 - ・ 不登校児童生徒の学びや支援 ・ 外国につながるこどもの学びや支援
 - ・ 多様な才能、個性を伸ばす機会の提供

Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり

- ③ 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上
 - ・ 志ある優れた教職員の確保 ・ 専門性を有する質の高い教職員の育成
 - ・ 多様な支援スタッフの配置 ・ 教職員が生き生きと働ける環境の整備
- ④ 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備
 - ・ 新しい時代の学びを実現する学校施設等の整備
 - ・ 学校安全の推進 ・ 中山間地域等における教育環境の整備
 - ・ 学びの機会確保に向けた支援 ・ いじめの問題への対応

Ⅲ こどもの学びや育ちを支える連携・協働

- ⑤ 多様な人材・主体との連携・協働
 - ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
 - ・魅力ある地域人材や団体等との連携 ・家庭教育支援の推進
 - ・放課後の居場所づくり

本校の概要（児童の実態含む）

1 概要

- ・明治6年(1873年)前身となる石神学校開校。令和8年度に154年目を迎える。
- ・児童減少により、令和4年度から複式学級を編制している。

年度(令和)	複式学級	学級数	全校児童数
4	2・3年	5	52
5	3・4年	5	51
6	3・4年	5	48
7	2・3年 5・6年	4	42
8	5・6年	5	39
9	2・3年 5・6年	4	39
10	2・3年	5	39
11	3・4年 5・6年	4	37
12	3・4年 5・6年	4	32

※ R8以降は予測

2 特色と児童の実態

- 阿多古川が横に流れ、敷地内に稲田があることから、自然に触れ合う機会に恵まれている。
- 地域の方が協力的であり、稲作やクラブ、地域探検等の活動で支えられ、有意義な活動ができています。
- 保護者の学校への理解があり、PTA活動やその他ボランティアでは積極的に参加して下さる方が多い。
- CSコーディネーターにより、地域や保護者の方との連絡調整が円滑にでき、充実した学習活動につながっている。
- 児童は明るく素直であり、何事にも真面目に取り組む。また、学年関係なく接することができる。
- 全児童に全職員が関わる体制ができており、学習や生徒指導面での情報交換が円滑に進めることができる。
- 学区内に自然や文化的な建物等が多いが、学校からの距離が遠く活用しきれていない。
- 児童数が少なく、交流の範囲が狭いため、人間関係が固定されてしまうことがある。
- 4小での交流になると、普段見せている積極性や明るさを出せない。
- 多様な考えに触れる機会が少なく、新しいことを創造したり、新しいことに挑戦したりする力に課題がある。
- 素直でまじめな分、与えられたことには確実に取り組むが、自分で判断して主体的に行動することには課題がある。

4 令和8年度学校経営構想

(1) 学校教育目標

ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子

- ふるさとを愛し ・ ・ ・ 地域の「ひと」「もの」「こと」の良さへの気付き
ふるさと阿多古への感謝と貢献
- 夢に向かい ・ ・ ・ 振り返りをもとに見通しをもち計画を立てる力
「自分らしさ」の確認
- 共に学び ・ ・ ・ 交流できる仲間への感謝 自他の意見の尊重
「自分らしさ」の発揮
課題解決に向かった活発な議論(心理的安全性)
- 行動する ・ ・ ・ 把握・分析→計画(見通し)→実行→評価(振り返り)による主体的な活動
「自分らしさ」の伸長

※ ふるさとを愛する心を基盤にして、知・徳・体の育みとキャリアの基礎的・汎用的能力の重点を縦横の軸として相互に関連付け、教育活動全体を通してキャリア教育を推進する。

(2) 学校教育目標実現のための取組

① 知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな心身)のバランスが取れた活動

【知(確かな学力)】

- 「個別最適で協働的な学び」を通し主体的に学習できるよう、教員自身が主体的に研修に取り組む。
 - ・ 児童が主体的に活動できるための授業研究【個別最適】
自己調整学習 情報活用能力の育成
 - ・ 児童が考えや思いを伝え合い、学びを深めることができる交流の在り方についての研究【協働的な学び】
ICT機器活用 三小合同授業

○ 複式学級の学習スタイルを生かした学び方の確立 学習リーダーの育成

【徳(豊かな心)】

- 児童が相手や全体のために主体的に行動できるための「気付き」の機会や場を見逃さず、考える場を設定する。
 - 「ひと」「もの」「こと」への感謝の気持ちをベースにした気付きの場の設定
時・人・場に応じた言動 「聴く⇔伝える」場の重視
- 多様性にふれ、他者を尊重し受け入れることで、自分の視野や考え方を広げる場を設定する。(多様性と包摂性)
 - 気持ちのよい「あいさつ」「ありがとう」
異学年交流、連合教育活動を通した「関わろうとする」気持ちの育成
相手の気持ちに立った伝え方 情報モラル 折り合いをつける力
- 自分自身を見つめ直し、なりたい自分を思い描く場を設定する。
 - 「振り返り」の場の工夫 「振り返り」の可視化
キャリアパスポートの活用

【体(健やかな心身)】

- 自分自身に応じた挑戦の場と自力解決の場を設定できるよう支援する。
 - 「分かった」「できた」の積み上げができる機会の設定
「分からない」と言える集団づくり
「やってみよう」と思えるようなレベルに応じたステップづくり

- 体力や技能の向上に向け、目標をもって運動に取り組むことができる場の工夫をする。
 - 目標、達成状況の可視化（各種カード、タブレットの活用）
 - 達成に対する評価と称賛の場
 - 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会を設定する。
 - 自分事として捉えられる保健指導、防災教育、交通安全指導
- ② ふるさと下阿多古を愛する心の醸成
- 米作りを総合的な学習の時間の柱とし、そこに教科の関連する内容を結び付けることで、学ぶ意味が実感できる学習を展開する。
 - 学習内容に必要な地域の人材や環境を活用し、実感の伴う学びを展開する。
 - 地域の「ひと」「もの」「こと」との関わりから実感した良さや感謝の気持ちを、どのように地域に伝えるか、どのようにこれからは活かすかを考える場を設定し、支援する。
- ③ キャリア教育の視点
- 【将来設計・選択の力「今と未来のわたし」】
- ⇒自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力
 - ・行事等の振り返りを大切にし、今の自分の位置や能力を再確認する場を設け、将来の夢に向けて次への目標づくりにつなげる。
 - ・地域の方や活躍されている方からの話を聞くことで、自分の将来に生かす。
- 【他者に働きかける力・コミュニケーション力「大切な仲間」】
- ⇒人間関係形成・社会形成能力
 - ・個人の意見が出しやすく交流が深まる話し合いの形態や手段について研究することで、個に自信をつけ、積極的に他と関わる意欲を高める。
 - ・自分の考えを伝えるとともに、相手の立場や役割を含めて考えを聞き、話し合いができるようにする。（話し方・聴き方指導、四小・三小連合活動）
- 【計画・立案・実行・評価の力「計画と実行」】
- ⇒課題対応能力
 - ・主体的に学習や活動が進められるような、きっかけとなる課題を準備し、児童自らが計画を立て、課題解決できるよう支援する。
- ④ 安定した学校経営の基盤（地域・家庭・学校）
- 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり
 - ・児童、保護者に寄り添った温かい関わり
 - ・いじめを生まない、見逃さない意識と職員間の連携
 - 保護者や地域から信頼される学校の推進
 - ・教育活動の発信（学校 HP、ブログ、学校だより、学年だより、CSだより）
 - ・教育相談体制の確立
 - ・学校運営協議会を通じた地域と共に育つ学校づくり
 - 家庭との連携による学習・生活習慣の確立
 - ・面談等を通じた児童の学習、生活面での情報教育
 - ・個に合った主体的な家庭学習の在り方研究
 - ・保健だより等を通じた健康な生活習慣づくり
 - 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の構築
 - ・施設・設備の管理

- ・ いじめ防止基本方針に基づいた対応、必要に応じた修正・改善
- ・ 危機管理マニュアルに基づいた防災・防犯体制
- ・ 定期的な交通安全指導
- 教職員の資質能力の向上と心身の健康増進の両立
 - ・ 資質能力の向上に向けた主体的な研修
 - ・ 時間対効果と「やりがい」のバランスが取れた働き方改革
 - ・ 「お互いさま」と気持ちよく言える同僚性
 - ・ 心理的安全性のある職員室づくり

(様式1)

学校番号 (5120085)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立下阿多古小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

次年度の教育目標を踏まえ継続的・持続的に熟議し、学校運営協議会の考え方を熟成させる。
子供たちが貴重な体験を積みために必要な人材や場所等の情報提供および発掘について熟議する。
委員が主体的に情報を取り入れ、地域を巻き込んで育成支援する体制づくりを熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式1)

令和7年4月30日

浜松市立下阿多古小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 佐藤 聖徳 様

浜松市立下阿多古小学校運営協議会
会長 内山 達也

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年4月28日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 下阿多古地区は、地域の方々との交流が盛んであり、地域の方々を講師として招致することで、ふるさとを愛する心や夢に向かい行動する力をつけるべきである。
 - ⇒ グランドゴルフクラブと竹細工クラブで地域住民を講師として招聘する。
 - ⇒ キャリア教育として地域の方々を講師として招聘する。
- ② 現在行っている米作り体験を充実させるべきである。
 - ⇒ 地域の方々に米作りのノウハウを教えていただき、子供が米作りに主体的に関わる場を設定し、米作りの苦労や収穫の喜び等を大いに感じさせる。また、米作りを通して、阿多古地区のすばらしさに気付くとともに、自分で決めた課題に対して、主体的に課題解決に取り組む子を育てる。

収支決算書

住所又は所在地 浜松市天竜区両島762

名 称 浜松市立下阿多古小学校夢をはぐくむ学校づくり推進協議会

代表者氏名 代表 佐藤 聖徳

浜松市立下阿多古小学校夢育やらまいか事業

1 収入の部 548,000 円

2 支出の部 548,000 円

(内 訳)

費 目	予算額(円)	決算額(円)	算出の基礎						支出 番号			
			記号	事業内容	用途	単価	× 個数	= 小計				
報償費	126,972	141,101	ケ	地域体験活動の充実	田植え講師謝礼(茶)	3,360	× 1	= 3,360	円	4		
			ケ	地域体験活動の充実	田植え講師謝礼(菓子)	270	× 25	= 6,750	円	5		
			ケ	地域体験活動の充実	精米・米袋充填作業代	46,347	× 1	= 46,347	円	29		
			ケ	地域体験活動の充実	桃狩り講師謝礼(菓子)	3,000	× 1	= 3,000	円	7		
			ケ	地域体験活動の充実	地域学習講師謝礼(菓子)	1,500	× 1	= 1,500	円	18		
			ケ	地域体験活動の充実	地域学習講師謝礼(茶)	319	× 1	= 319	円	19		
			ケ	地域体験活動の充実	地域学習講師謝礼(菓子)	9,450	× 1	= 9,450	円	20		
			ケ	地域体験活動の充実	地域学習講師謝礼(茶)	3,669	× 1	= 3,669	円	21		
			ケ	地域体験活動の充実	地域学習講師謝礼(菓子)	1,542	× 1	= 1,542	円	23		
			ウ	文化的行事の充実	演劇教室鑑賞代	38,610	× 1	= 38,610	円	1		
			ス	生き方教育の充実	保護者学習会講師謝礼	14,256	× 1	= 14,256	円	10		
			ス	生き方教育の充実	キャリア教育講師謝礼(菓子)	1,500	× 1	= 1,500	円	8		
			ス	生き方教育の充実	キャリア教育講師謝礼(菓子)	1,500	× 1	= 1,500	円	11		
			ウ	クラブ活動の充実	クラブ活動講師謝礼(茶)	5,842	× 1	= 5,842	円	14		
			ウ	クラブ活動の充実	クラブ活動講師謝礼(茶)	3,456	× 1	= 3,456	円	17		
			旅 費	0	0							
			需用費	269,458	267,011	ケ	地域体験活動の充実	米作り肥料	6,030	× 1	= 6,030	円
ケ	地域体験活動の充実	米作り除草剤				3,850	× 1	= 3,850	円	2		
ケ	地域体験活動の充実	紙コップ(田植え給水用)				316	× 1	= 316	円	6		
ケ	地域体験活動の充実	レジ袋				888	× 1	= 888	円	26		
ケ	地域体験活動の充実	手塚袋				2,226	× 1	= 2,226	円	26		
ケ	地域体験活動の充実	ラベル6面				2,211	× 1	= 2,211	円	27		
ケ	地域体験活動の充実	ラベル8面				2,211	× 1	= 2,211	円	27		
ク	校内環境整備の充実	培養土				620	× 20	= 12,400	円	9		
ク	校内環境整備の充実	化成肥料				550	× 4	= 2,200	円	9		
ク	校内環境整備の充実	ホースリール				2,980	× 1	= 2,980	円	16		
ク	校内環境整備の充実	スプリンクラー				798	× 1	= 798	円	16		
ク	校内環境整備の充実	水やりタイマー				11,800	× 1	= 11,800	円	16		
ク	校内環境整備の充実	草刈り機				39,800	× 1	= 39,800	円	16		
ク	校内環境整備の充実	ビニールポット				300	× 3	= 900	円	22		
ク	校内環境整備の充実	苗ポットトレイ				50	× 10	= 500	円	22		
ク	校内環境整備の充実	培養土				620	× 30	= 18,600	円	25		
ク	校内環境整備の充実	パンジー				130	× 80	= 10,400	円	25		
ク	校内環境整備の充実	プランター				650	× 20	= 13,000	円	25		
イ	その他学習支援の充実	ライフジャケット				9,350	× 4	= 37,400	円	13		
ウ	児童会・生徒会活動の充実	クラフトパンチ				2,109	× 4	= 8,436	円	30		

			ウ 児童会・生徒会活動の充実	ペーパーワイドプロ用紙	521	×	1	=	521	円	30
			キ 幼小中一貫教育の充実	ミネラルむぎ茶	1,872	×	2	=	3,744	円	3
			キ 幼小中一貫教育の充実	熱中飴タブレット	1,609	×	2	=	3,218	円	3
			キ 幼小中一貫教育の充実	養生テープ	388	×	3	=	1,164	円	3
			キ 幼小中一貫教育の充実	油性マーカー	515	×	2	=	1,030	円	3
			キ 幼小中一貫教育の充実	コピー用紙	594	×	2	=	1,188	円	3
			キ 幼小中一貫教育の充実	ボッチャボール	19,800	×	4	=	79,200	円	15
役務費	7,970	19,888	ウ 文化的行事の充実	演劇教室振込手数料	880	×	1	=	880	円	1
			イ その他学習支援の充実	修学旅行用携帯電話3台	18,128	×	1	=	18,128	円	24
使用料	143,600	110,000	キ 幼小中一貫教育の充実	振込手数料	880	×	1	=	880	円	12
			キ 幼小中一貫教育の充実	自然教室バス代(小型)	51,700	×	1	=	51,700	円	12
			キ 幼小中一貫教育の充実	自然教室バス代(大型)	58,300	×	1	=	58,300	円	12
負担金	0	10,000	ス 生き方教育の充実	体験型防犯講座	10,000	×	1	=	10,000	円	28
計	548,000	548,000									

3 清算

	負担額	負担割合(%)	返金額
浜松市	548,000	100.00%	0

令和7年度 下阿多古小学校 地域学校協働活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生			桃狩り 鈴木堆保さん							天竜お話の会	昔の遊び 青葉会	校外学習 まち探検 ふれあいセンター 宗建寺
2年生												
3年生			ゲスト 下阿多古の昔と今 阿多古川について 大石欽也さん			なし狩り 鈴木堆保さん				ゲスト 阿多古駐在 鷲山さん	そろばん指導 下阿多古の昔と今	
4年生												
5年生		あゆっ米 種まき 市川敏夫さん		校外学習 サウナ天竜 TAKIパーキング ※スクールバス		あゆっ米 すがい作り 青葉会	校外学習 あゆっ米 森のマルシェきころ ※スクールバス	あゆっ米 脱穀・もみすり 市川敏夫さん	ゲスト 農業について 市川敏夫さん		あゆっ米販売 森のマルシェ きころ ※スクールバス	
6年生												
全校		読み聞かせ 月1/火曜日 5月～3月	あゆっ米 田植え 青葉会・PTA 読み聞かせ 下阿多古母親クラブ	読み聞かせ 下阿多古母親クラブ		(4年～6年) クラブ活動	あゆっ米 稲刈り 青葉会・PTA 読み聞かせ 下阿多古母親クラブ	(4年～6年) クラブ活動	読み聞かせ 下阿多古母親クラブ	読み聞かせ 下阿多古母親クラブ		(3年～6年) ゲスト 琴演奏 竹内紀子さん 読み聞かせ 下阿多古母親クラブ
						読み聞かせ 下阿多古母親クラブ		読み聞かせ 下阿多古母親クラブ				(4年～6年) クラブ活動 読み聞かせ

企画・提案書

～小規模校に夢を 音楽の街浜松～ 下阿多古幼小合同運動会に「マーチングバンド」の出演を!!

■企画・提案の概要について

開催日時	令和8年5月23日予定 幼小合同運動会
開催場所	下阿多古小学校グラウンド
参加人数	15名～30名予定
開催予算	無償 (学習支援として)
出演者	THE FOCUS (ザフォーカス) マーチングバンド
出演枠	運動会休憩時のハーフタイムショー

■提案の動機・目的

- ・ 以前の下阿多古小学校には、児童で結成された「鼓笛隊」があり、運動会の入場行進や天竜市の祭りでは、パレードにも参加。
- ・ 管楽器をはじめ、太鼓、木琴など様々な楽器にふれあう機会が学校にあった。
- ・ 現在では、様々な楽器とふれあう機会が減少。音楽室にある楽器にも限りがある。

「音楽の街浜松」に生まれた子供達に、間近で演奏を見て感じてもらいたい
「開かれた小学校」として、地域の皆さんに小学校へ来ていただくひとつの
動機となり、一緒に楽しんでいただきたい

■THE FOCUSについて

- ・ 2019年2月浜松市で活動を開始したマーチングバンド
- ・ 総勢約70名で活動し、2025年東海大会優勝、全国大会進出4位の実績あり
- ・ それぞれに仕事をしながら、週末に活動をしている
- ・ 愛と感謝を込めて、心震えるエネルギーを音楽と通して伝えることがモットー

■懸念されること

- ・ 楽器演奏の音

出合いは、夏の阿多古川。フォーカスの代表と話をする機会がありました。
このご縁を、チャンスに変えたい!!子供たちの経験や思い出が増えればと思い提案いたします。

学校支援コーディネーター 武田あゆみ